

資料

部落解放研究関係文献目録

(一九八六年一月〜三月)

【理論】

藤谷俊雄「杉之原氏の研究の展開の軌跡―『著作集』の刊行達成にあたって―」(『月刊部落問題』一一二号、2月)

杉之原寿一「部落問題研究とのかかわり」

(『科学思想』五九号、1月)

広瀬正明「書評」『戦後部落解放論争史』第五巻 師岡佑行著

(『ひょうご部落解放』二二二号、3月)

鎌田行平「部落解放理論の歴史の展開―社会主義理論との関係から―」(『反差別の思想的地平』明石書店 3月)

【通史】

石田眞一「部落の青春」東洋の鬼

(『どの子も伸びる』一〇五号、1月)

花田文聰(本棚)「部落の歴史をどう教えるか」

(『部落』四六六号、1月)

〈特集〉「壬申戸籍問題をめぐって」(『部落』四六七号、2月)

鈴木良「壬申戸籍の保存と公開」

渡辺久丸「壬申戸籍問題と情報公開原則」

卜部学「学問・研究の自由と部落問題―壬申戸籍問題をテーマに懇談会―」

山本人司「壬申戸籍をめぐる関西の動き」

(資料①)『よびかけ』および『壬申戸籍の学術利用に関する試案』

(資料②)「部落問題研究所の回答」

石田眞一「部落の青春」広島駅にて」

(『どの子も伸びる』一〇六号、2月)

直原弘道「兵庫県の解放運動と前田平一そのIV」

(『ひょうご部落解放』二二二号、3月)

石田眞一「部落の青春」新しい出発」

(『どの子も伸びる』一〇七号、3月)

石田眞一「子ども記・青春記によせて」(同右)

【前近代】

- 山路興造「鉦叩き」(『こべる』九七号、1月)
 太田心海「旧鍋島藩の被差別部落と宗教」
 (『佐賀部落解放研究所紀要―部落史研究―』三号、2月)
 大島恒彦「江戸期古地図に現われた被差別部落(纏)」
 (同右)
 中村久子(資料)「蓮池鍋島家『請役所日記』から・小城鍋島家『小城藩日記』から」(同右)
 『小城藩日記』から」(同右)
 研究部会(前近代)「史料解説」用留(三)」
 (『部落問題―調査と研究―』六〇号、2月)
 畑中敏之「部落の生活史36 小問物屋五兵衛」
 (『部落』四六七号、2月)
 辻ミチ子「太鼓屋」(『こべる』九八号、2月)
 森谷尅久「傾城屋と傾城町」(『こべる』九九号、3月)
 河田光夫「古代中世の猟漁民」
 (『京都部落史研究所紀要』六号、3月)
 川勝康弘「史料紹介」上山城上粕村指出帳(一)(同右)
 吉田栄治郎「近世初頭のかわたと斃牛馬処理権」
 (『部落解放研究』四八号、3月)
 河田光夫「親鸞と被差別民(四)」(『文学』五四号、3月)
 岩松繁俊「明治中期における『解放』の思想―柳瀬勤堂の被差別部落史研究―」(『ながさき部落解放研究』一二号、3月)
 高島典夫「史料紹介」鍋島藩神代領日記―被差別部落史―
 (同右)
 『特集』「大分県における被差別部落の形成Ⅱ」
 (民衆史研究会篇『民衆生活と信仰・思想』雄山閣 1985年11月)
 【近現代】
 上杉 聰「壬申戸籍における差別記載をめぐって」
 (『部落解放』二二九号、1月)
 白石正明・松尾尊允・師岡佑行・渡部徹「米騒動の民衆にもたらしたものの(上)―『京都の部落史7 史料近代2』の発刊に寄せて―」(『こべる』九七号、1月)
 藤谷俊雄「連載二〇世紀に生きる―あるインテリの自伝的歴史」
 (32)「蘆溝橋迷の銃撃」(『部落』四六六号、1月)
 鈴木 良「歴史家の散歩道―天皇と部落民」
 (『月刊部落問題』一一〇号、1月)
 空 辰男「(本棚) 広島新史 歴史編」
 (『部落』四六六号、1月)
 『特集』「部落解放全国委員会結成四十年」
 (『部落解放』二四一号、2月)
 小森龍邦・大賀正行・村越末男「(座談会) 戦後部落解放運動四〇年を振り返って」
 清水喜久「解放委員会結成のころ」
 野本せつ「埼玉県連再建のころ―野本武一の思い出」
 松井久吉「米よこせ、仕事よこせ闘争のころ」
 寺本 知「高橋君、山口さん、石田さんらのこと」
 阪本清一郎「平等観の広まりを感じて」
 (『おいた部落解放史』三号、3月)
 豊田寛三「豊後杵築藩における被差別部落の史的展開」
 柗田美純「被差別部落はなぜつくられたのか」
 沖浦和光「被差別民衆の担った文化と技術―新しい賤民史観の構築のために―」
 編集委員会「(史料) 題簽/日記(1)宝永七年(2)正徳元年『府内藩記録』」(同右)
 (史料)『松原革命文書』目録
 (『部落解放史・ふくおか』四一号、3月)
 木下 浩「部落の生活史37道場持ち在穢多」
 (『部落』四六八号、3月)
 本田 豊「武蔵の被差別部落―児玉郡児玉町における部落史研究―」(『東京部落解放研究』四八号、3月)
 研究会古文書研究班「群馬・高橋家文書について」(同右)
 本田 豊「(史料) 日本の賤民由来書(第三回)『永帳巻物』」
 (同右)
 森 杉夫「(史料) 堺荘官旧事録」(『堺研究』一七号、3月)
 高橋昌明「中世の身分制」(『講座、日本歴史』第三卷 中世1 東京大学出版会 1984年12月)
 小山靖憲「中世賤民論」(『講座 日本歴史』第四卷 中世2 東京大学出版会 1985年2月)
 塚田 孝「近世の身分制支配と身分」(『講座 日本歴史』第五卷 近世1 東京大学出版会 1985年3月)
 太田順三「中世の民衆救済の諸相―橋勸進・非人施行・綴法師―」
 松浦勇太郎「むなつき坂をこえて」
 河合周次「差別事件真相報告会が機縁となって」
 大源 実「第七回大会で火がついた」
 鈴木裕子「婦人水平運動史論覚え書(六)」
 (同右)
 藤谷俊雄「連載二〇世紀に生きる―あるインテリの自伝的歴史」
 (33)「南京大虐殺事件」(『部落』四六七号、2月)
 白石正明・松尾尊允・師岡佑行・渡部徹「米騒動の民衆にもたらしたものの(下)―『京都の部落史7 史料近代2』の発刊に寄せて―」(『こべる』九八号、2月)
 森山沾一「融和事業・融和教育の地域的展開―視座と『部落改善』期を中心として―」
 (『佐賀部落解放研究紀要―部落史研究―』三号、2月)
 鈴木 良「歴史家の散歩道―カニの横ばいと後ずさり」
 (『月刊部落問題』一一一号、2月)
 岡あきら「荊冠記 第五部『激流』第三章」
 (『部落問題―調査と研究―』六〇号、2月)
 黒川みどり「(書評) 藤野 豊『同和政策の歴史』」
 (『歴史学研究』五五一号、2月)
 黒川みどり・藤野 豊「(資料)『有馬頼寧』日記(一)一九一九年一月―三月」
 (『部落問題研究』八六号、2月)
 伊藤悦子「市立託児所の設置とその役割―京都市の地方改善事業の開始―」

- (『京都部落史研究所紀要』六号、3月)
- 田宮 武(書評)『証言・全国水平社』福田雅子著
 (『ひょうご部落解放』二二号、3月)
- 山田照美(書評)「解放の父・松本治一郎水平の旗をかかげて」
 西田英二作/吉郷幸治絵(同右)
- 石瀧豊美「筑前竹槍一揆と『解放令』」
 (『部落解放史・ふくおか』四一号、3月)
- 藤林晋一郎「戦前日本の施薬救療事業―被差別部落の医療機関にかかわって―」(『部落解放』二四三号、3月)
- 大串夏身(図書紹介)『水平月報』(複製版)
 (『解放教育』二〇四号、3月)
- 藤谷俊雄「連載二〇世紀に生きる―あるインテリの自伝的歴史
 (34)戦時下の教育」(『部落』四六八号、3月)
- 鈴木 良「歴史家の散歩道三〇 王様ははだかだ」
 (『月刊部落問題』一一二号、3月)
- 嶋田倉助(グラフィア)「大分県が生んだ解放運動の先駆者」
 (『ちあいた部落解放史』三号、3月)
- 陣 博「米騒動と大衆運動」(『論集 いぶき』六号、北九州市同
 和問題啓発推進委員会、3月)